

## 時間名詞「いま」のとりたて形式について On the Focusing Form of the Japanese Temporal Noun “ima”

馬 小 菲  
MA, Xiaofei

### 0. はじめに

時間名詞「いま」は、「今が大事だ」「今を生きる」のように、通常の名詞と同様、格をともなって主語や補語として使用される一方で、はだか格で状況語としても使用され、これを副詞とする立場もある。この状況語としての「いま」には、「いまは」「いまでは」「いまも」「いまでも」「いまや」「いまだに」等のとりたて形式がある。例えば、「いまは」「いまでは」には次のような用例がある。

- 1) 国内のギター生産を取り巻く現状は厳しい。他業種と同じく、生産拠点はコストの安い中国や東南アジアに移りつつある。同社も83年には月産1万4千本という世界一の生産量を誇ったが、今は2600本に減った。(朝日新聞 2011年01月01日 朝刊)
- 2) サイトの閲覧回数は同年9月で月1億2800万回となり、10年9月には月4億3800万回にまで増えた。扱っている商品数は07年12月で約1千万点だったが、今ではその4倍の約3900万点。(朝日新聞 2011年01月03日 朝刊)

このように、テキストにおいて、「いま」がとりたて助辞の「は」や「では」でとりたてられ、過去の状況と現在の状況を対比する。このような使い方においては、両者には差がないように思われるが、しかし、視野を広げていくと、「いまは」と「いまでは」の使用傾向には違いがあることが明らかになる。

- 3) 「こんなに汚れていては、池を訪れる人に申し訳ない」

そんな思いで、地元の定年退職者たちがボランティアとして始めた清掃活動が、会の結成の原点だった。組織づくりを呼びかけたのは、農林水産省の職員として愛知用水の計画段階から事業にかかわってきた山田光敏さんだ。

今は、池の周囲に猛烈な勢いで繁殖している竹の伐採が主な仕事になっている。山田さんは「スコップを持って汗を流すことで、絆が強まり、高齢化社会の『共助』につながっている」と話す。(朝日新聞 2011年01月06日 朝刊)

- 4) 近所の漁師仲間で幸子さんと年代の近い夫婦は1組しかいない。「大変だけれど、作業場に子どもを連れて行けるので、案外、子育ての時間は取れる。環境はいいので、もっと若い世代が増えてほしい」今は、そう願っている。(朝日新聞 2011年01月06日 朝刊)

5) 自閉症と診断されたのは4歳の時だ。うすいさんは最初は現実を受け入れられず、何度も打ち消した。だが診断が確定して、「今は子どもと向き合う時だ」と心を決めた。(朝日新聞 2011年01月07日 朝刊)

上記の例3、4、5の「いまは」を「いまでは」に置き換えることは難しい。さらに、以下のように、「いまでは」は「いまは」よりも、数量の対比が多く見られる。

6) 十万にすぎなかった画素数は、いまでは2000万画素を超えている。(朝日新聞 2011年01月10日 朝刊)

このように、「いまは」と「いまでは」はテキストにおいて、同様の働きをする場合もあるが、異なった振る舞いを見せることもある。本稿では、新聞記事における書き言葉のテキストを対象として<sup>1</sup>、「いま」のとりたて形式の意味機能を明らかにすることを目的とする。

まず、考察に入る前に、新聞記事という文体の特徴を把握しておかなければならない。というのも、テキストのタイプによって、テンスとアスペクトの意味機能が異なるからである。新聞記事という媒体は基本的に、社会において現実に起こっている事件や情勢を読者に客観的に伝えることを使命としている。書き手となる記者が淡々と事実を記述していくスタイルが基調となるが、社説のような新聞社としての立場を示すような記事もある。そして、書き言葉が基調となることは言うまでもないが、新聞記事は、小説などのフィクションやルポルタージュとは異なり、ノンフィクション・非体験型のテキストである。そして、〈時〉の表現については、ダイクティックな使用が中心となるが、アクチュアルな現在を表さない。

## 1. 先行研究

「いま」のとりたて形式についての先行研究はあまり多くないが、ここでは、時間副詞の意味体系を考察した川端(1964)、「は」「も」などによる「いま」のとりたて形式を考察対象とし、テンスとアスペクトとの相関から、「いま」の時間的な特定を試みた赤羽根(1994)、「いまは」と「いまでは」の相違について言及している金(2008)を取り上げる。

### 1. 1 川端(1964)

従来、時を表す語は名詞とされたり、副詞とされたり、明確な位置づけはされないことが多い。川端は「まだ、もう」も「今日、来月」などともに時を表す表現という点から出発し、時間を表すもの

---

<sup>1</sup> 対談型の記事や会話の引用は、本稿では対象外とする。ただし、書き手の立場から会話の内容を捉えなおしているような引用部分は考察対象とする。

を副詞<sup>2</sup>とした上で、システムの分析し、テンス、アスペクト、意識と相関しながら存在するとした。さらに、時間副詞が体系的をなすことを証明しようとした。

まず、時間副詞を「A文＝発言の内容的な現在を与える、その与え方に関するもの」「B文＝発言における現在を何らかの方向に超える、乃至超えようとするもの」に分け、さらに、A文を(1)「今、ただ今」(これらの副詞のもつ時間的な幅は、関心に依じて延長をもつ。)のような発言の現在に同時的に与えられる内容的な現在、(2)時の流に順行的に現在を与えるもの(「前もって」「いまだに」などがある。)と、(3)時の流に遡行的に現在を与えるもの(「すでに」「もはや」「いまは」「いまさら」などがある。)の3つに分けている。そして、遡行的に現在を与えるものをさらに(イ)事態の終結を過去に定位するものと、終結が現在において見られる時、現在における完了の関係が成立し、完了の速度的な大小が対立する。速度的に大きい場合(ロ)とする。(ハ)は速度的小の場合、(ニ)は変化の生じ得ない完了。)例として、「いまは」が挙げられ、以下のように記述されている。

「はや、もはや、もう、いまは」などは、(ロ)速度的に大きい場合である。既に(イ)は、現在と終結としての以前との間にかなりの時間量的な距りを持った関係を表現していたが、この距りとしての時間量が(ロ)の体制では零になり、その代りに速度的な大に、即ち完了の所要時間量的小に反映したものと言える。

つまり、「いまは」は「もう、もはや」のように、時間内での完了まで要する時間が少ない。さらに、(ロ)(ニ)は語彙的に共通することが多く、(2)、(3)は裏表をなす関係で、連続的である。

## 1. 2 赤羽根 (1994)

「いまは」「いまも」の研究としては、赤羽根(1994)が挙げられる。赤羽根(1994)は、「今」がどのようにして時を特定化するかを考えるに際して、テンスやアスペクトとの相関から捉えるほかに、「今」に「とりたて詞」がついた場合を考えることが有効であると指摘している。「今」にとりたて詞がつくことで、時間的に何と何が対比され、何が特定されるのか(主張に対比される含みとは何か)を明らかにすることによって、「今」の時間的な特定化の様相を捉えられるとしている。

まず、「今」が近過去を表す場合について、以下の通りになる。発話時点以前の至近な過去における漠然として時点を示しているものである。この至近や漠然といった問題は場面や個人に委ねられることであり、ゆえに「たった今」「今しがた」などの関連語が存在する。

今も彼は彼女に電話をかけた。

主張：発話時点直前の「今」の時点において、彼が彼女に電話をかけたこと。

含み：発話時点より以前の時点において、彼が彼女に電話をかけたこと。

<sup>2</sup> とりたて形式を受ける「いま」は品詞論上、副詞であっても、名詞であっても、意味機能の分析に影響が出ないため、本稿では問題視しないことにする。しかし、こうした観点は時間を表す語の考察には欠かさないと考え、今後さらに詳しくみていく。

今は彼は彼女に電話をかけた。

主張：発話時点直前の「今」の時点において、彼が彼女に電話をかけたこと。

含み：発話時点より以前の時点より以前の時点において、彼が彼女に電話をかけなかったこと、及び「今」の時点より以後の時点において、彼が彼女に電話をかけないだろうこと。

この2例では、それぞれの含みは異なるが、「も、は」といったとりたて詞が付くことで、発話時点直前の「今」の時点と「今」以前の時点や「今」以後の時点との対比がなされ、「彼が彼女に電話を掛けた時」として、発話時点直前の「今」の時点が特立されている。なお、「は」のみが、「今」以後の時点とも対比されていると考えられるが、これは、対比的際だちを強く顕現する「は」の機能によると思われる。

そして、「今～ている」の形式の「今」は二通りが考えられる。一つは「発話時点」といった時間軸上の一点であり、もう一方は、過去や未来と対比される時間幅のある現在である。

#### 発話時点

今も彼は彼女と話している。

主張：発話時点において、彼が彼女と話していること。

含み：発話時点以前の過去のある時点で、彼が彼女と話していたこと、及び発話時点以前の過去のある時点から、彼が彼女と話していること。

今は彼は彼女と話している。

主張：発話時点において、彼が彼女と話していること。

含み：発話時点以前の過去のどの時点においても、彼彼女と話さなかったこと、及び発話時点以後において、彼が彼女と話さないだろうこと。

#### 現在

今も彼は彼女と文通している。

主張：現在、彼が彼女と文通していること。

含み：過去において、彼が彼女と文通していたこと。

今は彼は彼女と文通している。

主張：現在、彼が彼女と文通していること。

含み：過去において、彼が彼女と文通していなかったこと、及び未来において、彼が彼女と文通しないだろうこと。

発話時点の場合、「も」や「は」は発話時点の「今」を、発話時点以前の時点や発話時点以後の時点と対比させることで特立している。現在の場合、「も」や「は」によって、過去や未来との対比において、現在の状態が特立されることになる。

また、近未来の場合について、以下のように指摘している。動詞の現在形は、未来テンスを表すが、

「今～する」は発話時点からの近未来における意志的行為を表す。「は」も「も」も取り立てることができない。発話時点を中心とした「今」は「現在」を意味しており、近未来として他の時点と対比されてはいない。発話時点に限りなく近く、かつ未確定の任意の未来における一時点を表す「今」と対比される時はとりたて詞によっても想定されにくいといえよう。

近未来の「いま」は、発話時点から至近の未来における任意の一時点を表すが、発話時点とあまりにも近く、しかも未確定の未来の時点である点で、対比されるべき時点が想定しにくく、とりたて詞がつきづらい。

### 1. 3 金 (2008)

金 (2008) は「いま」と「いま」を含む副詞「いまは」「いまでは」「いまや」「いましも」「いましがた」「いまに」「いまにも」について考察し、「いまは」と「いまでは」の相違についても言及している。「いまは」は対比されるものが、二項対立的に示されるのが特徴であり、対立項が明示されず、「いまは」だけで、以前はそうでなかったと暗示されることもあるとしている。また、未来に対して「いまは」が用いられるが、その場合は対立項が明示されない。確定的な事柄として提示できないからであると説明する。

「いまでは」については、「いまは」の対照性と比較すると、「いまでは」には以前からの漸進性が認められる。未来と対照されることはないとしている。

### 1. 4 まとめ

川端 (1964) では、「いまは」を一つの時間副詞として取り上げ、時間副詞の体系の中での位置づけを示している点で、出発点となる研究である。そこでは、「いまは」が遡行的な時間副詞の一つとして挙げられている。本稿では、この位置づけを確認した上で、とりたて形式としての特徴を大量の実例の観察に基づいて記述したい。

赤羽根 (1994) は、「いま」のとりたて形式を体系的に記述しようとしている点で参考になる。しかし、テキストレベルでの観察が十分でなく、言語事実を正確に捉えているとはいえない。例えば、赤羽根は「いまは～する」という形はありえないとしているが、本稿で扱う新聞記事においては、そうした例はいくつも出てくる。

金 (2008) の「いまは」と「いまでは」の対比性の相違についての指摘は有効である。二項対比性や漸進性は、本稿での観察でも確認された。しかし、金は、「は」「では」のとりたてしかみておらず、「も」「でも」を視野に入れた、とりたての体系として考察する必要があるだろう。

「いま」のとりたて形式の研究では、時間的側面ととりたて的な側面をテキストの中で総合的に考察する必要がある。そして、そこに評価性の側面がからんでいることにも注意する必要がある。

## 2. 述語のテンス・アスペクトとの関係からみた「いまは」と「いまでは」

「いま」のとりたて形式として、以下、「いまは」「いまでは」を取り上げる。時間副詞はテンポラリティーの表現手段の一つであるが、テンポラリティーの表現手段としては、述語のテンス・アスペクト形式も重要である。ここでは、まず、「いまは」「いまでは」と共起する述語の表すテンス・アスペクトとの関係を見ていく。

### 2. 1 日本語テンス・アスペクト体系（工藤1995）

工藤（1995）によると、スル形式は、テンス的に＜発話行為時と同時＝現在＞を基本的に表しえない。それは、アスペクト的に＜非継続＝時間的限界づけられた完成的把握＞を表すためである。また、タクシスの（他の出来事との外的時間関係において）、スル（シタ）の連続が＜出来事間の継起性＞を表し、シテイル（シテイタ）の連続が＜出来事の同時性＞を表すのは、両者が、アスペクト的にみて、出来事の＜時間的に限界づけられた完成的把握＞か＜時間的に限界づけられない継続的把握＞かで、異なっているからである。スル（シタ）とシテイル（シテイタ）によって表現される＜完成性—継続性＞の対立が、現代日本語の最も基本的なアスペクト対立であると思われる。

時間的 限定性 アスペクト テンス	個別・具体的			抽象的
	完成相	継続相	パーフェクト相	反復相
未来	スル	シテイル	シテイイル	スル（／）
現在	／	シテイル	シテイイル, シタ	スル, シテイイル
過去	シタ	シテイタ	シテイタ	シタ, シテイタ

表1

そして、完成相のスルとシタは基本的に＜未来—過去＞でテンス的に対立し、継続相のシテイルとシテイタは＜現在・未来—過去＞でテンス的に対立している。したがって、スル形式、シタ形式は単なる非過去形、過去形ではなく、完成相非過去形、完成相過去形であって、アスペクト的把握ぬきに、テンス的意味を実現することはできないのである。形態論的形式における、アスペクト的把握とテンス的把握の統合性を認めておかなければならない。パーフェクトは＜継続性＞と異なり、＜後続時点における、それ以前に成立した運動の効力の現存＞を表すものである。反復相（反復性）が時間量の広い位置づけである。そして、反復性にとってより本質的であるのは＜時間的限定の非具体性＝抽象性＞である。このような時間的な＜限定性の有無＞の観点からの＜具体的か抽象的か＞の意味特徴も、広い意味での＜時間的位置づけ＞に関わるものとして、テンスの中にも含めることができる。

さらに注意すべき点として、テンス形式の意味、機能はテキストのタイプによっても異なる。まず、はなしあいのテキストにおいては、文法的テンスにおいて、形式的には絶対的テンス形式と相対的テンス形式が分化しておらず、終止の位置では、発話時を基準軸とするダイクティックな絶対的テンス対立となり、非終止の位置では、出来事時を基準軸とする相対的テンスの対立となる。そして、どちらも文法的対立であるがゆえに、スルーシタ、シテイル—シテイタの相互の言い換えはきかない。一方、語彙的な時間副詞においては、発話時を基準軸とする絶対的=ダイクティックなもの、出来事時=発話の内容時を基準軸とする相対的なものが形式上、分化=対立している。

そして、かたりのテキスト（小説の地の文）においては、＜内的独白＞の場合、テンス形式、時間副詞は作中人物の＜心理活動=内的発話活動のいま＞を基準軸としてダイクティックに使用されていて、会話文＜はなしあい＞における場合と同じである。外的出来事の提示部分では、＜かたり＞として、主導時制形式の過去形が、非ダイクティックに使用される。かたりのテキストにおいて、特徴的なのは＜描出話法＞と呼ばれる技法である。これは同じ文に登場人物の視点と語りの視点が現れる技法であり、テンスは従来と異なる。また、具体的な外的出来事提示部分の主導時制形式は、シタであるが、これとの対比上、非アクチュアルな反復の出来事は背景的解説性の機能をもって、スル形式が使用される。

## 2. 2 テンス・アスペクト形式の分布

「いまは」と「いまでは」の用例を、朝日新聞オンライン記事データベース「聞蔵」を使って各500例収集した。これらの副詞と呼応する動詞述語のテンス・アスペクト形式の分布（比率）は以下の通りである。

	スル	シテイル	シタ	シテイタ
いまは	39%	43%	18%	0%
いまでは	23%	34%	43%	0%

表2

「いま」のテンポラリティーは現在である。シテイタ形式がないのは、この形式は現在を表せないからである。他の形式は、現在を表すことができるのだが、この表が示すように、分布は一様ではない。「いまは」はシテイル形式が、「いまでは」はシタ形式がもっとも多いことがわかる。以下、それぞれの具体的な使われ方についてみていく。

## 2. 3 「いまは」とテンス・アスペクト

### 2. 3. 1 シテイル形式

シテイル形式のアスペクトの基本的意味は「動作の継続」「変化結果の継続」のほか、派生的な意

味として、＜パーフェクト性＞＜反復性＞＜単なる状態＞がある。「動作の継続」であるか、「変化結果の継続」であるかは動詞のタイプによって決まる。さらに、動詞の種類によっては、構文的条件も必要となる。

例1では、「食べている」は本来、動作の継続を表すが、ここでは、動作の継続ではないことは一目瞭然である。ここでは、「いまは」は「最近現在」という幅の広い時間を表し、この中で、繰り返し起こる運動と解釈したほうが妥当である。つまり、反復性、習慣と解釈できる。

1) 今は1日に1袋の半分を食べている。少し物足りない気もするが、経済的にも健康にもいいと考えて我慢している。(2011年01月04日 朝刊)

さらに、以下の例でも同じように一時的な具体的動作とは考えられない。スル形式と同じように、人間の長期的な活動あるいは長期の特性である。

2) 「最終的には自分のオリジナルの型をつくりたい」と岡野さん。今はレプリカを手がけながら過去の巨匠の技を学んでいる。(2011年01月05日 朝刊)

3) 中村建設本体は破産したが、こうして「技」は伝承された。いまは中村さんの娘婿である加藤雅康専務(48)が、事業を統括している。(2011年01月06日 朝刊)

変化動詞が用いられている例もあるが、一時的な状態の変化ではなく、特性の変化を表している。

4) 地元の定年退職者たちがボランティアとして始めた清掃活動が、会の結成の原点だった。組織づくりを呼びかけたのは、農林水産省の職員として愛知用水の計画段階から事業にかかわってきた山田光敏さん(87)だ。今は、池の周囲に猛烈な勢いで繁殖している竹の伐採が主な仕事になっている。(2011年01月06日 朝刊)

### 2. 3. 2 スル形式

スル形式の基本的な機能は未来テンスであり、完成相を表す。つまり、基本的に完成相スルは現在を表すことは不可能であるといえる。だが、スル形式<sup>3</sup>が「現在」を表すならば、派生的な意味の＜反復性＞と＜恒常的特性＞の場合が窺われる。ここでいう反復性というのは「彼は毎朝5時に起きる」のような抽象的なものであり、恒常的特性というのは「人は死ぬ」<sup>4</sup>のような一般的なものである。まず、例5の「今は年中ほとんど牧場周辺で漁をする」は、「漁をする」という具体的な動作が繰り返される。つまり、発話時を中心とする幅広い期間において繰り返し起こる運動として捉えることができ、「反復性」と考えることができるだろう。さらに言えば、「習慣」としても捉えられる。「反復性」「習慣」であるゆえ、「漁をする」を「漁をしている」に置き換えても、意味変化は生じない。これらは、「いまは」によって、現在を表すため、恒常的な特性という解釈はできない。

<sup>3</sup> 森本(2005)は「今日本語学校で日本語を勉強します」のような、一般動詞の非過去形と共起する場合、なぜ習慣性の解釈できないかについて、言及している。

<sup>4</sup> このような時間的限定のない一般化された文には、アスペクト、テンスの分化はありえない。

5) 県は回遊魚を集める黒潮牧場を1985年から設置し、現在は高知沿岸に14基ある。中城船長は「昔はナブラ（群れ）に集まる鳥を目印に追ったけど、今は年中ほとんど牧場周辺で漁をする」という。(2011年01月05日 朝刊)

6) 結婚子どもが生まれ、いまは奈良にある主人の実家へ横浜から帰省するのに新幹線に乗ります。(2011年01月06日 朝刊)

しかし、以下の例のように、「反復性」と解釈されにくい例も多くある。まず、以下の例7、8などでは、動詞そのものが主体動作動詞（非内的限界動詞）の人間の長期的な活動を表す動詞である。これらの動詞については時間内での動的展開は考えられない。「仕事をする」を「仕事をしている」に、「経営する」を「経営している」に置き換えても、意味変化は生じない。

7) 原口順司さん（43）は安川電機時代、第44、47回大会で区間最高をマークし、主力選手だった。いまは食品関係の仕事をする。(2011年01月09日 朝刊)

8) 以前は数カ月に1度くらいしか島に渡らなかったが、いまは島で月の半分を過ごす。(2011年01月09日 朝刊)

9) 「刑務所に入ってまで覚醒剤を使うのは損だな」。そう思うようになっていた。月日がたち、すっかり茶色く変色していても、全国一の営業成績を収めた時の順位表は、ずっと引き出しにしまっている。今は起業し、県内で会社を経営する。従業員は10人を超えた。(2011年01月04日 朝刊)

10) ビックは昨年11月、アイミーブの仲介販売を始めた。いまは首都圏4店で扱う。(2011年01月04日 朝刊)

また、内的状態動詞の場合、工藤（1995）で指摘されたように、スル形式は基本的に一人称に限られ、<態度表明文>や<感情・感覚表出文>となる。アスペクト的意味は<思考活動のひとつとまり性>か、あるいは<感情・感覚の発生性>を表すか検討する必要があるとしているが、以下の「いまは～スル」形式が発話時アクチュアルな現在を表すのではなく、長期的継続性を表している。通常、こうした内的情態の長期的継続性を表すのはシテイル形式であるが、「いまは」と共起する場合、スル形式にそのような意味が生じることは注目に値する。

11) ゴウ君はソファでテレビを見ている時、前で「弟」や「妹」がケンカしているのを見ていると、ほっとするという。「最初は友達みたいだったけど、今は家族だと思う。仲間というか、大事な存在」(2011年01月05日 朝刊)

12) 調理担当の丸山俊恵さん（69）は、40代で食品衛生管理者の資格を取った料理好き。「店をやりたい」と思っていたが、健康面で不安もあった。今は「『おいしい』と言ってくれる人の存在が大きな喜び」と感じる。(2011年01月04日 朝刊)

13) かつては1日で100万円分のイカを釣ったこともあるが、今は不安ばかり募る。「この年だと転職も難しい。どうすればいいのか」(2011年01月04日 朝刊)

次のような受身文では、主体が一般化しており、最近の社会的・一般的な傾向が表されている。

14) おせち料理は砂糖が貴重だった時代、年に一度たっぷりの甘みを楽しんだもの。それがいまは甘さ控えめが支持される。(2011年01月01日 朝刊)

ここで問題となってくるのは、以下のような、変化動詞の場合である。これらが未来を表していないことはいうまでもないが、反復でも長期的な活動でもない。

15) 平成の大合併を経て赤磐市に受け継がれた懸賞金は今年、2011万円に達した。だが、かつて町の資料館に並んでいた復元模型などは多くが散逸。観光施設「ドイツの森」に飾られていた死骸の骨格標本も、今は物置で眠る。(2011年01月03日 朝刊)

16) メンバーやボランティアの学生らが参加。温泉街から米沢市内へ向かう県道沿いにある「独楽の里 つたや」を拠点に、第1弾作品「ヲノグアワ」のセットづくりに励んだ。つたやは1年前に看板をたたんだ独楽の製造直売店。いまは目の前に「小野川映画」の看板が立つ。(2011年01月01日 朝刊)

17) 駅北側は「西日本で最も広い」と吹聴された区画整備が1974年から98年まで行われ、今は碁盤の目のように整然とした住宅地が広がる。(2011年01月08日 朝刊)

例15、16であれば、「眠る」を「眠っている」に、「立つ」を「立っている」にそれぞれ置き換えても、意味の変化は生じない。というより、はなしあいのテキストであれば、必ずシテイル形式を用いるところであろう。これらは変化動詞が空間的配置動詞として用いられたものであると考えられるが、次のような例は、長期的な変化過程を表している。これも通常はシテイル形式になるところである。どのような条件で、このようなスル形式の用法が成立するかについては、改めて考える必要がある。

18) とともに大阪府出身の上本光則さん(40)と妻の直美さん(36)、娘の志穂ちゃん(4)は08年10月、大阪府藤井寺市から徳島県中央部の神山町に移住した。人口は約6500人。かつては林業が盛んだったが、今は過疎が進む。(2011年01月11日 朝刊)

### 2. 3. 3 シタ形式

シタ形式は、基本的に過去・完成相を表す。そして、派生的な意味として、<現在パーフェクト性>と<(過去の)反復性>がある。<現在パーフェクト性>は「現在時に結果・効力が存続する過去の運動」である。この<現在パーフェクト性>は、アスペクト的であると同時に、テンス的な把握の複合である(工藤1995)。「いまは」が時間的に現在を表すならば、シタ形式との共起は現在パーフェクトになると考えるのが妥当であろう。現在パーフェクトであれば、シテイル形式に置き換えられる。つまり、シタ形式をシテイル形式に変えても、アスペクトの意味は変わらないのである。

例19の「減った」を「減っている」に、例20の「入札もなくなった」を「入札もなくなっている」に置き換えても、意味は変わらない。

19) 国内のギター生産を取り巻く現状は厳しい。他業種と同じく、生産拠点はコストの安い中国や東南アジアに移りつつある。同社も83年には月産1万4千本という世界一の生産量を誇ったが、

今は2600本に減った。(2011年01月01日 朝刊)

- 20) 10年前には1シーズン30キロはとれた。その年々のマツタケ狩りの権利は、島の自治会が仕切る入札で競り落とされた。100万円近くで落札されることもあった。今はめっきり収穫が減り、入札もなくなった。(2011年01月04日 朝刊)

## 2. 4 「いまでは」とテンス・アスペクト

続いて、「いまでは」とテンス・アスペクト形式との関係についてみていく。

まず、シテイル形式に関しては、反復性のほか、次のような現在パーフェクトとの例が目立つ。

- 21) 2本の木は今から40年くらい前、鉛筆くらいの太さの苗を買って植えた。今は幹周りが30センチあまり、高さは6〜7メートルに達している。(2011年02月24日 朝刊)

スル形式の場合は、長期的活動、空間的配置、反復性などを表し、「いまは」と同様である。

- 22) 2004年の学校教育法改正で栄養教諭制度ができ、栄養管理だけでなく、教員の立場で食育を指導できるようになった。下元さんもすぐに免状を取得。今は、家庭科の授業で生徒に給食の献立を考えてもらい、給食の合間にも食にまつわる講義をする。(2011年01月14日 朝刊)

そして、例23は反復性ではなく、一種の存在と考えられる。

- 23) カフェは、町が2008年6月にオープンさせた。商品は少しずつ増え、今は120種類ほどが店内に所狭しと並ぶ。(2011年02月24日 朝刊)

存在動詞であれば、スル形式が現在を表すことは不思議ではない。

- 24) 県漁協小木支所の神谷洋志郎・総務部長は受け入れ当初、船主たちが不安を漏らすのを何度も聞いた。だが、心配はすぐに吹き飛んだ。指示に素直に従い、黙々と取り組む。技術のみ込みも早い。今は乗組員の半数が実習生の船もある。(2011年01月06日 朝刊)

さらに、シタ形式はやはり、ここでも、現在パーフェクトを表す。

- 25) 「月300台」と営業側に当初言われた。ふたを開けるとすぐに納車半年待ちに。月産1千台を倍増した。今は全世界で月産約5万台、昨年9月に累計200万台を突破した。(2011年01月06日)

- 26) 苗木は一昨年3月、アンネのいところでアンネ・フランク財団のパディ・エリアス会長のはからいで同館に贈られた。当時は70センチほどだったが、今は155センチまで育った。(2011年01月08日 朝刊)

ただここで留意すべき点として、シタ形式が占めす割合である。「いまは」の場合に比べ、その割合は倍である。現在パーフェクトが多いことが分かる。これは後述にあるように、「いまでは」が「いまは」に比べ、状況の推移に焦点を当てることが関係すると考えられる。

## 3. とりたて方からみた「いまは」と「いまでは」

「いま」が「は」「では」でとりたてられる場合、そのとりたて方は対比性であることが容易に想像できる。しかし、新聞記事のテキストにおいて、「いまは」と「いまでは」という二つのとりたて形式は、対比のしかたに違いがある。この節では、その違いについて考察を行う。

ここでは、対比性の二つの側面をみる。まず、一つ目は、この節で述べるような、過去との対比であるか、未来との対比であるかという対比の対象である。二つ目は、対比される状況間の進展性の有無である。

### 3. 1 対比の対象

まず、「いまは」について。「は」の対比性について論じている多くの先行研究でも指摘されているように、「は」の対比的意味が現れやすいのは、「かつて」のような「いま」と対になる名詞が用いられている場合である。

例1では、先行文では「かつて」のある時間「20年ほど前」において、「材木工場が15カ所ほどあった」という状況が提示され、「いま」の状況としての「半分もない」と対比的関係にある。つまり、現在の状況と過去のある時点の状況との対比になる。

- 1) 美和地区は林業が盛んで、20年ほど前は材木工場が15カ所ほどあったが、いまは半分もない。

(2011年01月01日 朝刊)

- 2) 現役時代は身長175センチで体重73キロか74キロ、今は78キロ前後。(2011年01月06日 朝刊)

さらに、例3のように、「いまは」が現在と未来とを対比する場合もある。「いまは映画などの大型ファイルを取り込むには長時間かかる」という状況に対して、これからのある時点で「これが数分で取り込めるようになる」という意味を包含する。つまり、「いまは」によって提示される現在の状況が未来の状況と対比されていると考えられる。

- 3) 今は、映画などの大型ファイルを取り込むには長時間かかるが、これが数分で取り込めるようになる。だから、外出先でも気軽に大容量コンテンツを楽しめる。(2011年01月01日 朝刊)

- 4) 「携帯などで気軽に写真が撮影できる時代に、写真館に家族がわざわざ集まって少しおしゃれをして写真を撮る。その行為そのものを楽しんでほしい」と新井さん。

背景にもこだわるのは「家族の顔だけでなく、住んでいる家や使っているものなどを情報として残すことが目的。そこから思い出がよみがえってくる。今は見逃しているささいなものでも、時間がたてばたつほど意味が出てくるんじゃないかと思うんです」。(2011年01月07日 朝刊)

次のような例5、6でも、対比される状況の明示はされていないが、対比しようとしているのは、未来の状況であろう。

- 5) 失意の中、昨年末の国体予選に目標を切り替えた。ジャンプの成功率を上げることに集中し、調子を取り戻せたという。「地元でスケートをする人がいなかった分、周りのみんながずっと応援してくれた。国体の先のことは今はあまり考えてない。目標は8位入賞です」(2011年01

月07日 朝刊)

- 6) 作品の特徴に合わせて、リッチコンテンツにするかどうかや、著者との配分などはその都度決定する。G (2010から刊行する作品の公募も検討している。船山社長は「電子書籍の取り組みは、今は種をまき、育てていく時期。まだまだ、予想もつかないような動きが生まれてくる」。(2011年01月07日 夕刊)

このように、「いまは」<sup>5</sup>の場合、過去の状況と対比する場合もあれば、未来の不確定の状況と対比する場合もある。「いまは」と同じように、「いまでは」についても、過去との対比が成り立つ。例えば、例7では、過去の「95年時点」での状況は「約25万人」であるのに対して、「いまでは」は「約13万人に激減した」という状況になっていると述べている。

- 7) だが、教育方針が多様化した90年代半ば、親や子供からの不満を受けて多くの学校がスキー合宿を自主参加に切り替えた。少子化の影響もあって合宿に参加する子供は95年時点の約25万人から、今では約13万人に激減した。(2011年01月07日 朝刊)

- 8) 同連盟は1960年2月、加盟42団体で創立された。江間秀明会長はあいさつで半世紀を振り返り、「小学校、中学校、高校、職場・一般と、今では400団体に達した。(2011年02月27日 朝刊)しかし、「いまでは」は、「いまは」とは異なり、未来と対比する例がないのである。これは「いまでは」が現在の状況を過去の状況からの推移の結果として評価するという特徴をもつことと関係すると思われる。

### 3. 2 進展性

「いまは」には、過去の状況と現在の状況を数値的に対比する例がみられる。例えば、例9は、過去と現在の店舗数を対比している。

- 9) 同社の直営店は10年前、奈良市内の2店だけだったが、いまは25店。年商は12億円から21億円に上昇した。(2011年01月07日 朝刊)

- 10) 三重県内の作付け比率も、80年代半ばに20%近くまで達したが、今は1%以下と見られる。(2011年01月07日 朝刊)

また、次の例では、過去と現在の「思い」を対比している。

- 11) 当時の私は高校生から大学生でしたから、冬休みは実家の手伝いに明け暮れていました。初詣にも行けず、親戚も遠慮して集まらず、当時は友達の家と比べて寂しい思いをしました。

そんな私も観光地で年末年始も休まない喫茶店を長年経営した後、現在も正月休みがない仕事についています。今は宿命だと思っています。(2011年01月05日 朝刊)

<sup>5</sup> 「いまは」は会話文においては「今は忙しい」のような現在を点として捉えることもあるが、こうした「点」の解釈は「いまでは」にはない。

上記のような例では、「いまは」を「いまでは」に置き換えることもできる。しかし、次のような例では、置き換えは不可能である。この違いは、進展性の有無であると考えられる。例えば、店舗数や作付け率は、増加にしろ減少にしろ、同じ軸での状況の進展と捉えられる。「寂しい思い」から「宿命という思い」への推移も、状況の進展である。ところが、例12で確認できる、「反民主、反自民」という政党への反発・反感から「反小沢」という個人への反発・反感という状況の変化は、同じ軸での進展とは捉えられないだろう。例13、例14も同様である。

12) ただ、これだけ民主党がボロボロでも、国民は「では自民党に再び政権を」とは思っていません。最近の政治は全部、「アンチ」の風頼みです。アンチ自民で民主党政権ができたけど、どうも頼りない。反民主、反自民というので今度はみんなの党が躍進した。いまは「反」小沢です。(2011年01月07日 週刊)

13) 船を見た瞬間に気力を失った。漁師をやめることも頭をよぎるが、県漁業協同組合の景山一夫組合長から「まだまだ若いから頑張れ」と励まされた。かつては1日で100万円分のイカを釣ったこともあるが、今は不安ばかり募る。「この年だと転職も難しい。どうすればいいのか」(2011年01月04日 朝刊)

14) 「こんなに汚れていては、池を訪れる人に申し訳ない」そんな思いで、地元の定年退職者たちがボランティアとして始めた清掃活動が、会の結成の原点だった。組織づくりを呼びかけたのは、農林水産省の職員として愛知用水の計画段階から事業にかかわってきた山田光敏さん(87)だ。今は、池の周囲に猛烈な勢いで繁殖している竹の伐採が主な仕事になっている。山田さんは「スコップを持って汗を流すことで、絆が強まり、高齢化社会の『共助』につながっている」と話す。(2011年01月06日 朝刊)

さらに、「いまは」は、対比の対象がはっきりしない場合も出てくる。こうした場合も、「いまでは」には置き換えられない。

15) 近所の漁師仲間で幸子さんと年代の近い夫婦は1組しかいない。「大変だけれど、作業場に子どもを連れて行けるので、案外、子育ての時間は取れる。環境はいいので、もっと若い世代が増えてほしい」今は、そう願っている。(2011年01月06日 朝刊)

16) 2007年に寺社建築の部門を「中村社寺」として残し、創業1400年を超え、「世界最古の企業」といわれる寺社建築会社、金剛組(大阪市)の子会社になった。中村建設本体は破産したが、こうして「技」は伝承された。いまは中村さんの娘婿である加藤雅康専務(48)が、事業を統括している。(2011年01月06日 朝刊)

「いまでは」の場合、「いまは」と異なり、原則として、対比の対象は先行文に明示される。そして、次のような数量的な対比の例が多くみられる。数量の増加または減少の方向への状況の進展が表されている。

17) 同課によると、大和町の新設住宅着工は10戸に満たない月すらあったのに、今では40～50戸着

工する月もある。(2011年01月06日 朝刊)

- 18) 月山志津温泉青年部や学生らがつくり手になる雪旅籠は2006年に始まった。年々評判となり、09年には地域活性化センター主催の故郷イベント大賞で最高賞を受賞した。1回目は約30人だったボランティアが今では約100人を数える。うち2割以上は県外からやって来る。(2011年01月06日 朝刊)
- 19) メーカーが競い合ったのは、画質を高めるための撮像素子の画素数拡大だ。当初は数十万にすぎなかった画素数は、いまでは2000万画素を超えている。(2011年01月10日 朝刊)
- 20) 元日に日本全国で配達された年賀状の数が、2年連続で減少したといます。我が家でも、かつては数百枚も出した時代がありましたが、今では数十枚となってしまいました。(2011年01月14日 朝刊)

また、事業や活動の開始時点と現在を対比して、数量の増加の状況を述べた例もみられる。

- 21) カフェは、町が2008年6月にオープンさせた。商品は少しずつ増え、今では120種類ほどが店内に所狭しと並ぶ。(2011年02月24日 朝刊)

さらに、数値を明示せずに、量的変化や質的变化を状況の進展として述べる場合もある。

- 22) 瀬戸内海に浮かぶ祝島(山口県上関町)は、人口500人弱の小さな島だ。古代においては、畿内から九州・国東半島を結ぶ海上交通の要所とされ、万葉集にもその名を詠まれるほど広く知られていたというが、今ではその名を知る人もそう多くはなくなった。(2011年03月04日 週刊)
- 23) 2代目店長の矢島源一郎さん(49)は生まれも育ちもどぶ板だ。ベトナム戦争の頃は米兵相手のホステスやバーテンダーでにぎわった。1990年代には客層を日本人中心とし、ライブステージでは県立横須賀高生だった窪塚洋介さんも出演した。今では地元の神奈川歯科大学や防衛大学校の学生たちがワイワイ楽しむ店へと移り変わった。(2011年03月01日朝刊)
- 24) 私の95歳になる母は5年前、自宅で転んで大腿(だいたい)骨を折り大手術を受けた。その後は車いすの生活になった。寝付いて認知症が出ては可愛そうだと周りはひやひやしたが、辛い寝たきりにはならなかった。退院した後は、近くの整骨院で手厚い治療を重ねてもらい、今ではその車いすを手放し、杖さえも時々忘れるくらいに回復した。このリハビリは母が人間らしく生き抜くために大変重要な手当てだった。(2011年03月03日 朝刊)

このように「いまは」と「いまでは」は、とりたて方が大きく異なる。「いまは」が、現在を現在以外の時間からとりたて、現在に強い焦点を当てる表現であるのに対して、「いまでは」は、現在の状況を過去の状況からの進展の結果として評価する表現である。「いまでは」の進展性は、次のような例でも明らかである。最初の例では、過去の状況として「実名使用への抵抗が強いとされる」初期状況が提示され、「広がり」という中間段階を経て、「当たり前になる」という現在の状況に至る進展の過程が表現されている。下の3例も同じである。「当初、無表情で言葉数も少なかった」から、「何度も開いて話し合い」という段階を経て、「1929年、開発が進められ、街路樹として植えられた」から、

「住民らによって植樹が重ねられ」を経て、「いまでは」の後続事柄、事態の「実名使用が当たり前になった」「何でも言い合える」「約300本になった」にいたる。

25) F Bにとって、日本は最優先事項だ。ネット人口が多いのにF Bの利用者が少なく、伸びしろが大きい。

日本では、実名使用への抵抗が強いとされる。しかし、実は米国もネット文化は全く変わらず、従来は匿名使用だった。そこに、F Bが大学内のサービスとして登場し、やがて一般に広がり、今では実名使用が当たり前になった。(2011年01月18日 朝刊)

26) 3人は当初、無表情で言葉数も少なかった。育った環境も生活習慣もあまりにも違い、本田さんも戸惑ったという。「風邪で寝込んだので部屋におかゆを持って行ったら、『こんなものでもらったの初めて』って泣き出したり。びっくりするようなことばかりだった」と振り返る。

家族会議を何度も開いて話し合い、今では何でも言い合える「仲良し家族」になった。表情も柔らかくなり、食卓は笑いが絶えない。(2011年03月04日 朝刊)

27) 桜の品種はソメイヨシノ。1929(昭和4)年、京都と大阪を結ぶ新京阪線(現・阪急京都線)の開通に合わせて「西向日住宅」の開発が進められ、街路樹として植えられた。住民らによって植樹が重ねられ、いまでは約300本になった。(2011年02月20日 朝刊)

さらに、「いまでは」には、「一定の高いレベルに到達した」という肯定的な評価的な感情が含まれることが少なくない<sup>6</sup>。この意味が表されるときには、「まで」や「～になった」との共起が目立つ。

28) 苗木は一昨年3月、アンネのいところでアンネ・フランク財団のバディ・エリアス会長のはからいで同館に贈られた。当時は70センチほどだったが、今では155センチまで育った。風土に慣らすため、鉢植えのまま育てられた。(2011年01月08日 朝刊)

29) 安心院のブドウ農家を中心になって農家民泊を始めた1996年当時、受け入れ農家はわずか5軒。家や部屋に金をかけず、心の交流をめざし、今では周辺地域を含め約70軒にまで増えた。(2011年01月11日 朝刊)

30) 以前と比べ、鑑定の精度は飛躍的に向上した。測定機導入前、約1千人に1人に絞れる程度だったが、今では約4兆人に1人を特定できるようになった、と加藤徹副所長は自信を持つ。(2011年01月12日 朝刊)

### 3. 3 「いまは」「いまでは」と「いまや」

「いまは」「いまでは」の類似表現として、「いまや」がある。次の例では、「いまや」でも「いまでは」でもよい。

31) 同国唯一の主夫協会の会長。身分証明書の更新の際、役所側は職業欄を「失業者」とするよう

<sup>6</sup> 否定的な評価である場合もないわけではない。

求めた。役所のコンピューターには「主婦」を表す女性名詞「カサリング」しか選択肢がなかったからだ。だが、彼は「主夫」にあたる男性名詞「カサリング」と記すよう譲らず、すったもんだの末に認めさせた。この経験をきっかけに「主夫の社会的地位を認めてほしい」と呼びかけ、2003年に協会を発足させた。わずか3人からのスタートだったが、今や会員は全土で5千人を数える。(2011年01月07日 朝刊)

しかし、次の例の「いまや」は、「いまでは」には置き換えられない。むしろ、「いまでは」に近い。

32) 審議ボイコットという抵抗戦術は、自民党一党支配がなお強固で、野党にはめぼしい対抗手段がなかった時代には仕方のなかった面もあろう。しかしいまや政権交代時代である。しかも野党が参院で過半数を握り、与党は衆院で再可決する頭数もない。(2011年01月07日 朝刊)

「いまでは」に置き換えられる「いまや」の例をもう少し観察しよう。例33、34では「いまでは」と同じように、先行文で対比される過去の状況が現れ、「いまや」を伴う文には現在の状況が示され、後者は前者の進展の結果として対比されている。このとき、「いまや」は「いまでは」と同じく、一定の高いレベルの達成という評価的な感情を帯びる。

33) 呼びかけ人の野中太一先生(40)は、大学時代に坪田耕三先生の授業をみて、がくぜんとした。カレンダーや九九表から数の決まりを見つかる。子どもたちは考えを言い合い、能力に関係なく、違う意見を認め合っていた。「私が受けてきた、いかに速く、いかに正確に正解を出すかの授業とは全く違った」さらに進化した授業をめざし、2009年春、4人で議論を始めた。いまや20人を超える勢いだ。「授業を変えれば、その教育を受けた次世代の教師はもっと変わる」と信じる。(2011年01月01日 朝刊)

34) 最初にご紹介するのは2手目にこだわりを持つ棋士同士の対戦である。初手▲7六歩に△8四歩と突く。昔は当たり前だったこの手が今や少数派となった。(2011年01月01日 朝刊)

このような例をみる限り、「いまや」と「いまでは」はきわめてよく似ている。しかし、「いまや」にとって、明示的な過去の状況の提示は必須ではない。次の例では、進展性や評価性はあるが、対比される状況は明示されていない。「いまや」にはこうした例が多い。

35) 牧尾英二社長は「小売りの専門家が見たら『ふざけているんじゃないか』と思うかもしれせんね」と話す。AZあくねの売り場面積は約1万8千平方メートル。客の求めに応じて商品が増え続け、いまや約38万点に達する。品目を絞って大量に仕入れ、安く売るディスカウント店と比べると数倍ある計算だ。(2011年01月04日 朝刊)

36) モンゴルでは、社会主義から資本主義に移行した1990年代以降、急激に近代化が進んだ。日本人がイメージする「遊牧民」は減り、今や人口の十数%に。馬ではなく車やバイクに乗り、ゲルではなくマンションに住む人が増えた。子どもたちの関心はパソコンやテレビゲームに移り、外ではあまり遊ばなくなった。(2011年01月06日 朝刊)

さらに、次のような例では、現在の状況に焦点が当たっており、対比性が希薄で進展性は暗示的で

ある。こうした例では、「いまでは」に置き換えにくくなる。

37) 今年7月、地上波テレビがデジタルに完全移行する。パソコンやカメラ、映像、音楽……、今やデジタル機器は生活には不可欠な存在だ。でも、人の持つ五感、経験、勘だって捨てたものじゃない。(2011年01月01日 朝刊)

38) この「明けましておめでとう」と時を同じくして「優勝おめでとう」の言葉をいただく“栄誉”を得た。いろいろな意見があるのは承知しているが、やはり元日の決勝で勝つというのはいいものだ。今やスポーツは正月の風物詩の一つだが、中でも「元日の天皇杯」の存在感は格別のものがある。(2011年01月05日 朝刊)

重要なのは、このように、対比性や進展性が背景化したとしても、評価性は前面にあるということである。現在を強くとりたてるという点では、「いまや」は「いまは」と同じであり、評価的感情を伴うという点では、「いまや」は「いまでは」と共通であるといえよう。

#### 4. 「いまも」「いまでも」について

以上、時間名詞「いま」に関して、「は」の系列のとりたて形式についてみてきたが、以下では、「も」の系列のとりたて形式、すなわち、「いまも」「いまでも」についてみることにする。「いまは」と「いまでは」の関係が「いまも」と「いまでも」の間にも同様に成り立つかどうかを中心に検討する。

##### 4. 1 テンス・アスペクトについて

本題に入る前に、テンス・アスペクト形式との関係について、ごく簡単に触れておく。「いまも」「いまでも」と共起する述語のテンス・アスペクト形式の用法は、「いまは」「いまでは」の場合とほぼ共通であるが、それに加えて、シテイタ形式との共起が見られた。これは、工藤(1995)で指摘されている「絶対的時間副詞の相対的使用」であると思われる。「いまは」にもこの用法があってもよいはずだが、みつかっていない。

1) かつて郡司庁(役所)が置かれ、こんびら参りの「丸亀街道」でにぎわった歴史あふれる地域を歩くと、町は今も水と共に、ゆったりと生きていた。(2010年03月28日 朝刊)

##### 4. 2 「いまも」と「いまでも」

「も」によるとりたて形式の基本的な意味は、文中のある要素をとりたてて、同類の他のものにその要素を加えるということである。「いまも」の場合、現在という時間をとりたて、それを過去と同じ状況にある時間として評価する意味になる。では、「いまも」の用例を見てみよう。

2) 山形と秋田の県境の日本海に浮かぶ飛鳥(山形県酒田市)は、周囲約12キロの小さな島だ。対馬暖流の豊富な魚介類に恵まれている。江戸時代は年貢をスルメで納めた。今もイカ漁が生活

を支える「イカの島」だ。(2010年03月31日 朝刊)

3) これまでも、公害健康被害補償法に基づく認定患者、1995年の「政治決着」を受け入れた被害者、2004年の関西訴訟の最高裁判決で勝訴した被害者と、症状の基準や補償額が異なる三つの被害者が存在している。そして今回、もう一つ新たな水俣病被害者の概念が生まれる。さらに、なお取り残される人々が確実に存在する。「所見」が救済対象とする地域以外に住んでいたり、誕生日がずれていたりする人々の中にも多くの被害者がいる。昨秋の民間医師の検診で明らかになり、今も検診の度に新たな被害者が名乗り出ている状況だ。(2010年03月31日 朝刊)

4) 柔道の練習中に亡くなったり、けがをしたりした子どもの家族が立ち上げた全国組織「全国柔道事故被害者の会」の初会合が27日、東京都であった。発起人の1人、小林泰彦さん(63)の3男(20)は04年、横浜市立奈良中学校(青葉区)で柔道部の練習中に倒れ、今も脳障害と闘っている。小林さんは「柔道の危険性を知ってもらうとともに、再発防止につなげたい」と話している。(2010年03月28日 朝刊)

それぞれ、「イカ漁が生活を支えている」という現在の状況、「検診の度に新たな被害者が名乗り出ている」という現在の状況、「脳障害と闘っている」という現在の状況が、過去から変わりのないものとして存在していることを表している。

「いまは」と「いまでは」は置き換えられない場合が多いが、「いまも」と「いまでも」は多くの場合、置き換え可能である。上に挙げた例も、「いまでも」に置き換えることができる。しかし、「いまでも」には、「いまも」にはないニュアンスがある。それは、現在の状況が過去から変わっていないという認識に加えて、長い時間の経過の中で状況に変化があってもよいはずであるのに、変化していないという一種の評価的感情を伴うことである。状況が変わってほしいと書き手が思っているときには否定的な評価になるが<sup>7</sup>、長期間状況が変わらないことに対する感嘆や感慨、称賛などの肯定的な評価の場合もある。

5) 福岡市西区の会社員(46)は小学1年生の息子を二つ目の学習塾に入れるかを迷っている。最近、福岡市で割安で多様な授業をする塾が増え、目移りするようになった。「いろいろな能力があり、異なる教育方針で育った子供を皆一緒にして教える学校は物足りない」しかし、安くなったとは言え、塾代はばかにならない。今でも月2万~3万円かかる。自分の小遣いと外食の回数を減らし、1年に1回だった家族旅行を2年に1回に減らした。(2010年03月14日 朝刊)

6) 小学校の時にいじめで不登校になり、以来、フリースクールに通う。月謝は4万5千円。その支援はないまま、納税額だけが年3万円程度増えそうだ。「今でも月謝が払えずやめていく生徒がいる。私たちが苦しい」(2010年03月29日 朝刊)

7) 通院や買い物のため、週に1、2回、乗り合いタクシーを利用しているという高齢の女性は「一

<sup>7</sup> 本稿では取り上げられなかったが、「いまだに」は否定的評価に特化した副詞であろう。

緒に乗り合わせた人と『ドライブみたいやわ』と会話も弾むようになり、地域住民同士が以前より仲良くなった気がする」という。運行協議会の広田久之事務局長は「最初はタクシー利用に抵抗を感じていた高齢者も、使ううちにバスや電車と同じ感覚になるようで、今でも少しずつ新規の利用者が増えています」と話している。(2010年03月17日 朝刊)

## 5. おわりに

本稿で取り上げた「いま」のとりたて形式は、現在の状況を過去（場合によっては未来）との関係においてどのように捉えているかということを表現する。パーフェクトが過去と現在との統合化であるとすれば、時間副詞という語彙的手段によって、時間の統合化がなされることがあっても不思議ではないだろう。本稿では、動詞述語文を中心に考察したが、形容詞述語文や名詞述語文が「いま」のとりたて形式と共起した場合についても、考察する必要がある。今後の課題としたい。

## 参考文献

- 赤羽根義章（1994）「とりたて詞からみた「今」」『愛知教育大学研究報告（人文科学）』43
- 川端善明（1964）「時の副詞（上）」『国語国文』33-11
- 川端善明（1964）「時の副詞（下）」『国語国文』33-12
- 金 英児（2008）「時間副詞「いま」について」『韓国日本文化學報』37
- 工藤真由美（1992）「現代日本語の時間の従属複文」『横浜国立大学人文紀要（第二類語学・文学）』39
- 工藤真由美（1995）『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現』ひつじ書房
- 澤田美恵子（2007）『現代日本語における「とりたて助詞」の研究』くろしお出版、
- 寺村秀夫（1991）『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』くろしお出版
- 沼田善子（2009）『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房
- 益岡隆志他編（1995）『日本語の主題と取り立て』くろしお出版
- 森本順子（2005）「現代日本語の時間表現—「今」について—」『京都外国語大学研究論叢』LXIV号